

2. 短期入所生活介護事業所法正園

(1) 行動指針

在宅要介護高齢者の利用ニーズに応えるため、利用者主体のサービスを念頭に居宅介護支援事業者や家族との緊密な連携に努めます。また、サービスを提供することにより、家族の身体的精神的負担の軽減を図るとともに利用者の社会的孤立感を解消し、生活の助長を図ることを目的とします。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和元年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護研修の実施と、虐待チェックリストを2回実施しそれに基づいた研修も行いました。 ・身体拘束廃止と虐待防止については、毎月委員会で検討しましたが、特に問題はありませんでした。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の緊急な都合により送迎時間の変更や家庭に近い居室レイアウトで対応し居心地よく過ごして頂きました。
	家族との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・入所される前日には、電話連絡し状態確認と送迎時間等の把握、3月には朝の検温のお願いしました。 ・家族さん、居宅ケアマネと連携を密にし出来るだけ家庭と同じ対応を行いました。
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度調査をご利用頻度の高い方、家族さんにお問い合わせや評価を確認し改善に繋げました。
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・居室を明るく居心地よい空間にする為、古くなったカーテンを交換しました。4部屋の色を変える事で違った雰囲気の一部屋作りが出来ました。木製の床頭台や傾斜鏡を使用することで使いやすい物になりました。また歩かれる方の為に畳対応もスムーズに出来るようにしました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアは、1グループほぼ毎月定期的に受け入れていきます。他、保育所等との交流会を行いました。 ・なごみホールを社協に貸し出し使用して頂きました。(11/5～3/2)
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・発行の前月と前々月ご利用の方に広報誌を発行し行事等の取り組みや施設内の雰囲気を確認して頂きました。
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・理念の周知徹底のため職員会や委員会での一斉唱和を実施しています。
	人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・法人で野村高校出前講座を行いました。 ・高校、中学生の福祉体験ボランティア等を受け入れました。 ・外国人介護人材獲得の為、ミャンマー行へき面接を行い、2名の方を選出し、令和2年度に来日の予定です。
	人材の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットごとにリフトを設置し介護職の腰への負担軽減を行い徐々に定着しています。希望者は、介護技術講師の研修にて技術の再確認を行いました。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士資格取得に向け職員に情報提供を行いました。 ・成長支援制度の理解を深めるために研修を行いました。 ・介護技術向上研修に2名参加し、施設内で介護教室(介護マイスター)を月2回行いました。 ・ユニットリーダー研修4名受講し資格を取得しました。 ・喀痰吸引研修2名受講し資格を取得しました。

マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	・就業規則を掲示し、変更については職員会で説明を行いました。
	健全な財務規律の確立	・目標90%以上の稼働率に向けて実施し達成できました。 ・新規の方の長期ご利用があり、空床も利用しました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT等)	そ の 他
4月		成長支援目標設定研修	西予市老協総会 南予老協総会
5月	家族ふれあいデー 入居者・職員健康診断 西予老協協合同遠足	移乗用リフト研修	家族会役員会・総会 県老協総会 県老人福祉施設大会 広報誌発行第243号
6月	保育所交流会 なごみホール介護教室 野村高校ボランティア受入	感染症・食中毒予防研修 ユニットリーダー研修 法人初リーダー研修	県土砂災害防災訓練 県老人福祉施設大会 野村高校出前講座
7月	野村中学校就業体験受入 社協チャレンジボランティア受入 介護相談員受入	看取りケア研修 喀痰吸引実地研修 法人初リーダー研修	四国老人福祉施設関係者研究大会 ユニットケア施設(皆楽園)見学 ユニットケア管理者研修
8月	夏まつり 社協チャレンジボランティア受入	虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修 ユニットリーダー実地研修 法人初リーダー研修	県防災研修・事例発表 防火管理者研修
9月	敬老会 秋の法要	ポジショニング研修 喀痰吸引実地研修	南予巡回型介護教室 防災士養成講座受講 広報誌発行第244号
10月	西予市老協演芸大会 野村高校インターシップ受入	救命救急講習 法人地域連携講演会	全国老人福祉施設研究会議 外国人受入施設視察2回 西予市社会福祉法人連絡会 協会奉仕作業 顧客満足度調査
11月	なごみホール介護教室 介護相談員受入 夜勤者健康診断 ストレスチェック 乙亥力士来園	感染症対策研修 ユニットリーダー実地研修 認知症介護実践者研修 喀痰吸引実地研修	外国人受入施設視察 西予市社会福祉大会 西予市老協職員研修・交流会 なごみホール社協使用開始 西予市人材育成研修
12月	クリスマス会 各ユニット入居者忘年会	認知症ケア研修 ノリフッキング研修 摂食嚥下リハビリ研修 喀痰吸引研修 成長支援評価者研修	県防災に関する研修 シェイクアウトえひめ 南予地区合同災害訓練 介護支援専門員更新研修
1月	お年とり 初詣外出 インフルエンザ対策で面会制限	事故発生防止研修 施設マネジメント研修 認知症介護実践者研修 喀痰吸引研修	南予巡回型介護教室 外国人受入ミャンマー現地面接 介護支援専門員更新研修 広報誌発行第245号
2月	節分行事 コロナ感染症対策で面会禁止	危機管理・事故再発 防止研修(資料配布)	高知県栄養士会防災発表 技能実習生活指導員養成研修

3月	春の法要(職員のみ参加) ひな祭り喫茶 コロナ感染症対策で面会禁止	虐待・身体拘束研修 (資料配布)	
毎月	各ユニット食事会(誕生会)、職員会、運営委員会、リーダー会、各ユニット会、個別ケア推進委員会 食事・排泄委員会、入浴・介護技術委員会、企画委員会、OJT委員会、編集委員会 セイフティー委員会(褥瘡対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束・虐待対策) クオリティー委員会(給食、サービス、業務改革)、内部研修会 介護マイスター、介護技術伝達講習会、あかし歯科検診		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、セイフティー委員会(防災対策、安全衛生推進) クオリティー委員会(感染症予防対策、医療的ケア)、入所検討委員会(4、7、10、1月) 合同職員会(2ヶ月毎)、内科回診(火・水)、ユニット炊飯(毎週木曜日)		
随時	避難訓練、地域行事外出、交流会、里帰り、高齢者部会等各法人委員会、法人研修会		
毎日	口腔体操、機能訓練(月・水・金)		

(4) 利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者人数	稼働率	前年度稼働率
4	120	123	102.5%	83.3%
5	124	111	89.5%	67.7%
6	120	107	89.2%	84.2%
7	124	121	97.6%	69.3%
8	124	99	79.8%	75.0%
9	120	101	84.2%	84.2%
10	124	114	91.9%	89.5%
11	120	105	87.5%	75.0%
12	124	109	87.9%	83.0%
1	124	140	112.0%	75.0%
2	116	95	81.9%	90.2%
3	124	117	94.4%	84.0%
合計	1,464	1,342	91.6%	80.3%

利用定員 4名
平均介護度 3.14

3. デイサービスセンターふれあい事業報告

(1) 行動指針

「一期一会の縁を大切にします」

- ア 私たちは、利用者様の満足度向上に努力します。
- イ 私たちは、日々の仕事を通じて、人生を豊かにします。
- ウ 私たちは、一人ひとりの力を組織の力に結集させます。
- エ 私たちは、高い倫理観を持ち、公正・誠実に行動します。
- オ 私たちは、地域の社会資源として、生きがいを提供します。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和元年度取組報告
利用者・家族 に対する基本 姿勢	サービスの質の向上	・顧客満足度調査を実施し、意向の確認を行いました。利用者さんからの意見を参考にニーズに合ったサービスを提供した。また月に1～2回はおやつ作りを計画、実施しました。
	地域との関係向上	・デイでの交流会をイベントして来ていただきました。(保育園1回、幼稚園2回、大正琴2回) ・音楽療法やカラオケボランティアにも来ていただきました。 ・秋祭りや乙亥行事など地域団体との交流もできました。
	生活環境・利用環境の向上	・ポスターや重要事項説明など利用者さんが見えやすいように目線の高さに変更し対応しました。 ・職員の顔写真も掲示板に貼る事で職員の顔と名前が分かりやすくなり信頼関係が築く事ができました。
社会に対する 姿勢	地域における公益的な取組	・お試し利用や介護相談を受けました。
	情報発信	・年4回の広報誌を発行し、ご家族へ、デイで過ごされている様子等の紹介が出来ました。
福人材に対する 基本姿勢	人材のマネジメントの推進	・職員会時に理念を唱和し理念の徹底を図りました。 ・研修会に参加しマニュアルの見直しや業務の整備を行ないました。
	人材の定着に向けた取組の強化	・エルダー制を導入し新人育成に取り組む事ができました。 ・介護技術の講習にも参加し介護技術の向上が図れました。
	人材の育成	・認知症ケアを実践している施設への研修に行きました。 ・認知症介護実践者研修にも1名参加しました。 ・介護福祉士50%以上の確保ができませんでした。(48パーセント)

マネジメント に対する基本 姿勢	コンプライアンスの徹 底	<ul style="list-style-type: none"> 稼働率80%を目標にしていたが、長期の入院や施設入所などで達成できませんでした。(74.55%) 利用者さんに対する尊厳を守り声掛けに注意する事で苦情はありませんでした。
------------------------	-----------------	--

(3) 実施事業

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	お花見外出	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 介護技術研修	西予老施協総会 南予老施協総会
5月	こいのぼり見学	介護技術研修	県老施協総会、健康診断 デイ広報誌発行
6月		介護技術研修 感染症対策研修	
7月	七夕飾り 誕生会		
8月		身体拘束、虐待防止研修	
9月			奉仕活動 デイ広報誌発行
10月	秋祭り (牛鬼、五つ鹿踊り)	認知症研修	
11月	紅葉狩り外出 乙亥祭り (力士2名来所) 保育所交流		
12月	クリスマス会 干し柿作り	事故発生防止研修	デイ広報誌発行 避難訓練
1月	鍋料理 初詣外出 幼稚園交流 保育所交流		
2月	節分行事		
3月	ひな祭り	今年度運営状況発表	デイ広報誌発行 避難訓練
毎月	運営委員会・職員会・誕生会		
随時	担当者会議 (カンファレンス) ・法人委員会		
毎日	ラジオ体操・ADL体操・認知症予防体操・口腔体操		

(4) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	754	584	77.5%	83.4%
5	783	593	75.7%	82.4%
6	725	613	84.6%	80.1%
7	783	654	83.5%	68.0%
8	754	536	71.1%	61.0%
9	667	555	83.2%	71.0%
10	783	577	73.7%	71.0%
11	725	524	72.3%	75.3%
12	783	549	70.1%	71.4%
1	754	527	69.9%	68.2%
2	667	478	71.7%	73.4%
3	783	555	70.9%	74.3%
合計	8,961	6,745	75.3%	73.3%

利用定員 29名

1日平均利用 21.62人

営業日 日曜日から金曜日の週6日(元日は除く)

介護度状況 (令和2年3月末現在)

介護度状況 (令和2年3月末現在)					総合事業含む	
介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	要支援1	要支援2
22	18	6	7	5	16	9

平均介護度 1.7

男性 26名 女性 57名

平均年齢 88歳

4. 居宅介護支援事業所ふれあい事業報告

(1) 行動指針

- ①利用者の心身の状況、生活歴、環境等の把握を十分に考慮し、自立した日常生活が送れるよう個別ケアを行います。
- ②利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って支援します。
- ③行政、地域包括支援センター、介護保険施設等との連携に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和元年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	・外部、内部の権利擁護・倫理研修会等に積極的に参加しました。
	サービスの質の向上	・個別ケアを意識した関わりやケアプラン作成、また自立支援プラン作成を実施しました。事業所内で見直しや、意見交換も実施しています。
	地域との関係の向上	・独居や高齢世帯等、支援やサービスの必要なケースにおいて、民生委員さん等と連携を取り地域との関わりを大切にした支援を実施し情報共有を行いました。 ・ガイドブックを参考に、社会資源の把握や活用にも努めました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	・地域包括ケアシステム構築のため、介護医療との連携、地域との連携を実施しました。 ・多職種、専門職との連携を図りチームでの支援を実施しました。また研修会への参加や、事例検討会も実施しました。
	情報発信	・要介護者等が適切な介護サービスを選択出来るよう、介護サービス情報公表報告システムで、情報を公表しています。
福祉人材に対する基本姿勢	人材マネジメント	・理念の周知徹底を実施しています。
	人材の定着	・相談や情報共有情報交換を行い、困難事例等1人で抱えずストレスに繋がらないよう留意しています。 ・業務改善の見直しを行い、業務の負担軽減に努めています。
	人材の育成	・成長支援制度、各種研修会、地域リーダー研修等へ参加し質の向上やステップアップを実施しています。 ・主任介護支援専門員更新研修に1名参加しました。主任介護支援専門員取得研修に1名、来年度参加予定です。 ・介護支援専門員実務研修の見学実習を受け入れました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	・就業規則の周知・実施。介護保険制度の周知等を行い、法令を遵守し適正なケアマネジメント、運営を行っています。 ・3月には保険者によるケアプランチェックがありました。

職務内容

ア ケアプラン、記録等書類の作成
イ 介護サービス事業者との連絡調整
ウ 主治医や医療との面談、医療情報の収集や生活状況の情報提供
エ アセスメント（課題分析）、モニタリング（評価）の実施
オ サービス担当者会の開催
カ 利用者宅、サービス事業所訪問
キ 介護相談
ク 介護支援専門員実務研修等見学実習の受け入れ
ケ 他、居宅介護支援業務に関わる事

(3) 利用者利用状況等

月	介護保険				介護予防			
	男	女	計	居宅介護支援費	男	女	計	介護予防委託料
4	24	60	84	1,218,220	5	9	14	60,200
5	27	58	85	1,214,600	5	9	14	60,200
6	30	60	90	1,284,250	4	10	14	63,200
7	29	58	87	1,241,810	4	9	13	55,900
8	24	56	80	1,155,100	4	9	13	55,900
9	25	52	77	1,112,510	3	9	12	51,600
10	25	55	80	1,159,960	3	8	11	47,410
11	24	49	73	1,056,490	4	8	12	51,720
12	24	50	74	1,079,700	4	9	13	59,030
1	24	49	73	1,061,810	4	11	15	67,650
2	27	46	73	1,066,810	4	10	14	63,340
3	26	46	72	1,045,240	6	9	15	64,650
総計	309	639	948	13,696,500	50	110	160	700,800

居宅介護支援利用者介護度別 (R2年3月末現在)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
6	9	24	28	11	5	4

*要支援1は、総合事業対象者も含む。

毎月の業務

介護保険事業所連絡会	提供票交換会・各事業所情報交換
西予市介護支援専門員連絡会	勉強会、情報交換（偶数月）
主任ケアマネ連絡会	勉強会、情報交換（奇数月）
国保事務請求	給付管理・介護給付費請求事務
自宅訪問	本人の様子観察・家族本人の要望等の把握（最低月1回）
利用票・提供票の作成	次月の利用票・提供票の作成
利用票の配布	利用者・家族に利用票の配布・捺印を頂く
提供票の配布	各事業所に提供票の配布
モニタリング	各利用者のモニタリング（月1回）
介護支援経過の記録	各利用者の支援記録
病院との連携	野村病院週1回（木）カンファレンス出席 その他の病院は、随時訪問 入院時等、医療介護連携シートの提出
事業所内の伝達等会議の開催	週1回開催
各種勉強会、研修会への出席	ケアマネ研修、居宅介護支援に関する研修他

職員研修

プライバシー保護に関する研修	個人情報の重要性の再認識
倫理、法令遵守、権利擁護研修	知識を深める
介護支援専門員特別研修	専門知識の習得や質の向上を図る
認知症、認知症ケアに関する研修	認知症への理解を深め、実践に活かす
地域包括支援センター主催の研修や事例検討会	ケアマネジメントの質の向上を図る
県や市町、医療機関主催の研修	高齢者支援全般に関することを学ぶ
法人共同事例検討会、研修会	地域のケアマネジメント機能の向上を図る
地域リーダー養成研修	地域包括ケアシステム構築のため、主任介護支援専門員の資質向上を図る

5. 惣川高齢者生活福祉センター事業報告

(1) 行動指針

「一期一会の縁を大切にします」

①働くことの意義

私たちは、日々の仕事を通じて、人生を豊にします

②社会への貢献

私たちは、地域とともに、地域のために行動します

③法令・社会規範の遵守

私たちは、高い倫理観を持ち、公正・誠実に行動します

④働きやすい職場風土

私たちは、共に働く仲間を尊重し、明るい職場を創ります

⑤顧客起点

私たちは、利用者様の立場で考え誠意をもって行動します

(2) 重点事項

①安定的な事業経営

ケアマネージャーと連携をとり、新規利用者の確保と利用回数の検討をして稼働率のアップを図りましたが、死亡者、転居者の事例が多く稼働率アップには繋がらず10月より定員18名から15名に変更しています。また、継続した在宅生活の援助ができるよう、下肢筋力の維持向上を目的とした機能訓練を行いデイサービス利用継続を図りました。

②地域密着型通所介護事業への取組

9月に運営推進会議を実施して事業検討を行い、家族や地域の方の要望や意見、また利用者のニーズを汲み取った事業運営を行いました（3月はコロナウィルスのため中止）季節事にレクリエーション外出を実施し各地の名所を見学に行き利用者様喜ばれました。行事の参加、小学校交流会年3回（3月は中止）、幼稚園交流会1回を行いました。

③施設整備

該当ありません。

④重度化傾向になる利用者への対応

服薬管理ができなくなっている入居者様の対応を行いました。また、福祉用具のレンタルの支援をして住みやすい住環境を整えました。

送迎時、車中でのシートベルト着用がスムーズにできるよう工夫しました。

また、車内の手すりの増設、手荷物が掛けられるようフックを取り付けました。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	令和元年度取組報告
サービスの質の確保	利用者の意向に沿ったケアの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランに沿ったサービスを実施しました。 ・顧客満足度調査を実施、意向の確認を行いました。
	家族との連絡の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎や来所の際にはデイサービスでの様子をお伝えしました。
	美味しく楽しめる食事の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・席の配置に配慮して雰囲気作りを行いました。 ・おやつ作りをして一緒に楽しみました。
	利用者の安全確保と事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会に参加してスキルアップをしました。 ・環境整備を心掛け危険予知しました。
	感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会に参加してスキルアップをしました。 ・集団感染ゼロを実施することができました。
施設設備の充実	公用車の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・洗車、掃除など車輛整備を行いました。
	娯楽室の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・マットの交換をして過ごしやすい環境を整えました。
	施設設備等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・LED照明への交換をしました。
	安心して、楽しく暮らせる環境作り	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション用品の購入によりレクリエーションの充実と危険箇所の改善により安全を図りました。
地域との連携	幼稚園、小学校との交流会	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校年2回の交流会を行いました。 ・幼稚園年1回の交流会を行いました。
	地域行事への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・地方祭に参加し、地域の方と交流することができました。
	地域密着型サービスの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を年1回実施しました。(3月は中止) ・送迎サービスを行いました。
	ボランティアの受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れありません。
職員の質の向上	内部研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・法正園の研修会に参加しました。
	外部研修会への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅ケア等研修、認知症研修、感染症研修に参加してケアの知識を習得し職員に伝達しました。
	エルダー(新人育成)の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・新人の該当なし。
経営基盤の強化	稼働率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリや機能訓練による自立生活の維持を図りました。 ・地域の情報収集やケアマネとの連絡を密にして集客増を図りました。
	設備に対してのコストダウン	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員がコスト意識を持ちコストダウンに努めました。
	啓発活動による利用者の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・惣川民生委員会議に参加してデイサービスの周知を行いました。 ・地区の花見へ職員が参加しました。
働きやすい職場環境づくり	リフレッシュ休暇の計画的取得	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が事前に申し出ること、計画的に取得できるよう努めました。
	業務の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・業務分担表を作成して業務のスリム化を図り仕事の分担を行いました。
	職員間の懇親会	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に懇親会を行いました。
	労働災害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤時の危険予知の徹底を行いました。

(4) 行事報告

月	行 事	研 修	そ の 他
4月	誕生会 レクリエーション外出(鯉のぼり)	各事業所H30分析・H31目標発表 成長支援制度の目標発表等	舟戸分館花見 施設周辺除草
5月	誕生会 レクリエーション外出(鯉のぼり)		
6月	誕生会 遠足6/7	感染症対策(食中毒)研修	
7月	七夕飾り 誕生会		
8月	誕生会	身体拘束廃止・虐待防止研修	
9月	避難訓練 誕生会		奉仕作業(カーブミラー拭き)
10月	秋の遠足 地方祭見学10/15	救命救急講習	
11月	紅葉見学 小学校交流会 乙亥相撲観戦11/26		
12月	クリスマス会 誕生会 買い物外出 非常災害避難訓練	認知症研修	
1月	初詣(希望者)誕生会		
2月	節分、豆まき	今年度運営状況発表 事故発生防止研修	
3月	避難訓練・誕生会		小学校交流会中止(コロナ)
毎月	誕生会、惣川職員会		
毎日	棒体操、リハビリ体操、口腔体操		

②通所介護事業

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	396	277	69.9%	69.4%
5	414	275	66.4%	68.8%
6	360	226	62.8%	73.0%
7	414	243	58.7%	72.5%
8	360	205	56.9%	72.5%
9	378	207	54.8%	75.3%
10	345	237	68.7%	73.2%
11	315	211	67.0%	77.0%
12	300	198	66.0%	78.9%
1	300	178	59.3%	61.9%
2	300	183	61.0%	64.4%
3	330	204	61.8%	66.9%
合計	4,212	2,644	62.8%	71.2%

利用定員 18名→10月より15名

1日平均利用 10.4人

営業日 月曜日から金曜日の週5日

(8月14日、15日と12月29日から1月3日、2/18積雪のため休業を除く)

介護度状況(令和2年3月末現在)

介護度状況					総合事業含む	
介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	要支援1	要支援2
8	0	0	1	0	41	9

男性 14名 女性 45名

平均介護度 1.8

6. 特別養護老人ホームしいのき園

(1) 行動指針

『人をつなぐ地域をつなぐ共に笑顔のパートナー』

- ①安心安寧な生活の提供と維持に努めます。
- ②基本的人権を尊重したサービス提供に努めます。
- ③自分たちが利用したい施設を目指します。
- ④社会資源として地域に貢献します。
- ⑤常に職員の資質向上に励み、良質なサービス提供に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和元年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、身体拘束対策適正化委員会を開催し、検証及び拘束解除へ向けての取り組みを行いました。 ・毎月、虐待対策委員会を開催し、グレーゾーンの洗い出しを行い、虐待ゼロに努めました。 ・園内研修で、身体拘束・虐待対策に関する勉強会を行うと共に、今年度も全職員を対象に、虐待に関するアンケートを実施し、虐待ゼロへの職員の意識付けを行いました。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人一人のニーズを探り、個々に合ったプラン（ハッピープラン）の実現に努めました。 ・お客様満足度アンケートを実施し、利用者や家族の意向の確認を行い、意向に沿ったサービスに努めました。 ・管理栄養士を中心に栄養マネジメントを適切に実施し、食事委員会にて利用者様の嗜好を献立に反映させ、喜ばれる食事の提供を行いました。 ・給食委託業者と連携し、安心・安全で、個々の利用者様に合った食事の提供に努めました。また、旬の食材や行事食を提供し、季節を感じていただきました。 ・一緒におやつ作りやユニット食作りを行い、作る楽しみだけでなく、調理の様子を見たり、その音や匂いを感じたりすることで、五感を刺激しながら食事を楽しんでもらうことができました。 ・2月に2名の利用者様が、インフルエンザに罹患されましたが、早急に感染症対策を徹底し、それ以上の蔓延を予防することができました。インフルエンザ感染予防対策として、2月3日より面会中止としましたが、その後、新型コロナウイルスも深刻化して、長期的な面会中止を余儀なくされました。 ・今年度は、状態が急変する利用者様も多く、入院者は延べ28名おられました。病院、看護師、介護職員など多職種が連携し、現状の把握に努め、退院後も円滑に園生活を送れるよう努めました。

	地域との関係向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所訪問、小中学校の学生ボランティアや地域のボランティアを積極的に受け入れ、交流を持つことができました。 ・ 乙亥まつりなど地域行事へ参加したり、法人主催の清掃作業に参加しました。 ・ 昨年度は西日本豪雨災害のため「夕涼み会」が中止となりましたが、今年度は「納涼祭」とし、屋内での日中開催に変更しました。近隣住民の皆さんにも参加していただくことができました。 ・ 消防署職員指導の元、9月に夜間想定避難訓練と消火訓練を実施しました。近隣地域（椎の木、山本、上野）の方々にも参加していただきました。
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月、ユニット毎に福祉機器の点検を行い、修繕および危険箇所の速やかな対応を行うことで事故に繋がらないよう努めました。 ・ 老朽化していたリクライニング車椅子3台、電動ベッド2台の買い替えを計画的に実施しました。 ・ 以前より不具合を起こしていた特殊浴槽、ナースコールの買い替えにより、安心・安寧なサービスに繋がるよう努めました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の活用を行いました。（現在2名）
	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌「しいのき」を年3回発行し、担当者からの家族への近況報告や、看護師からの状態変化時の報告など、こまめに連絡をとり、信頼関係の構築に努めました。また、地域・関係機関にも情報を提供しました。また、ホームページにおいても園内の様子等を随時更新し、情報発信に努めました。 ・ 苦情の有無にかかわらず、ホームページと広報誌を通じて、苦情解決結果を公表しました。
福祉人材に関する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門的な知識や技術を習得するため、外部研修にも積極的に参加しました。そこで学んだ事をことをフィードバックし、職員の知識向上に努めました。
	人材確保に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野村高校への「出前講座」を2回実施、若手職員が参加し、経験談などを話すことで、介護への興味を深めてもらうきっかけ作りを行いました。
	人材定着に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスの向上と共に、働きやすい職場環境を整えるため、業務改革委員会を立ち上げて2年目。出来ることから実践し、その都度、改善が必要なことについて検討を行いました。 ・ 全職員対象の健康診断を5月に実施し、夜勤業務に携わる職員は11月に2回目の健診を実施しました。またストレスチェックも行いました。健診結果を各職員に配布して、健康維持への意識付けを行いました。 ・ 職員互助会などを通じて、定期的に職員同士の交流と親ぶくを深めました。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ エルダー制度を通じて、新任職員の育成と、先輩職員の成長を促すことができました。 ・ 成長支援制度において、チーム目標の設定を行い、個別目標を掲げることで、個々が目的意識をしっかりと持ち、取り組むことができました。 ・ 介護福祉士合格者4名が資格取得し、喀痰吸引研修は2名が終了しました。

マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	・職員会や内部研修において、全職員を対象に法令遵守に関する研修を行い、意識の徹底に努めました。
	健全な財務規律の確立	・今年度は新たに、経口維持加算Ⅰ、Ⅱを取得出来るよう管理栄養士が中心となり準備を重ね、7月より順次加算取得を開始しました。(3月末で42名取得) ・安定経営のために適正収入の確保として稼働率95%以上を目標に取り組みました。今年度は、昨年度より入院者も多く、利用者様の異動も多くありましたが、早期の入所案内などで、稼働率96.1%を達成する事ができました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	お花見(明間方面他) お楽しみ外出(溪筋方面他)	新任職員研修: 2名 身体拘束・虐待防止 事故防止・個人情報 の各研修: 26名	成長支援制度目標設定 家族会第1回役員会
5月	里帰り 西予市老施協合同遠足 5月人形かざり 火災避難・消火訓練	AED講習・酸素・吸引器 の取り扱い研修: 28名	家族会総会 健康診断(全員) 広報誌66号発行 第1回入所判定委員会 県老人福祉大会(実践者発表)
6月	園内運動会 お楽しみ外出(はま寿司) 火災避難訓練	感染症・食中毒予防の 研修、車椅子上での ポジショニング他: 26名	野村高校福祉教室(レク) 出前講座(野村高校)
7月	参議院議員選挙期日前投票 お楽しみ外出(宇和歴史博 物館)	経口維持加算に向けた 取り組み、食事姿勢、 嚥下リハ的手法: 28名	四国老人福祉施設関係者研究大会 (実践者発表)
8月	七夕飾り 納涼祭	褥瘡対策研修: 26名	チャレンジボランティア来園 (町内小中学生) 第2回入所判定委員会
9月	買い物ドライブ 夜間避難訓練(地域住民 参加)	看取り研修 給食施設の衛生管理、 食中毒について: 25名	南予老施協力のいらない介護教室 西予市白寿の祝い 県社協人材育成施設バスツアー 県実地指導監査 広報誌67号発行
10月	里帰り(中筋方面) 西予市老施協演芸大会 保育所との交流 園内敬老会 宇和町先哲記念館見学	感染予防研修: 22名	出前講座(野村高校) 第2回家族会役員会 協会奉仕作業 全国老人福祉施設研究会議愛媛県 大会
11月	乙亥大相撲観戦 インフルエンザ予防接種	資質向上ポジショニン グ研修: 25名	おいのこ来園 若葉会、退公連女性部、ボラン ティアそよかぜ来園 乙亥力士訪問 大掃除(家族会・ボランティア) 第3回入所判定委員会 健康診断(夜勤者)

12月	忘年会・餅つき クリスマス飾り 風水害避難訓練	摂食嚥下のメカニズム 誤嚥防止のための食事 姿勢、口腔ケア：27名	シェイクアウトえひめ
1月	お年とり・新年会 初詣	身体拘束排除、虐待防 止研修、介護リフト等 を使用した安全な移乗 介助：26名	広報誌68号発行 巡回介護教室（長浜高校）
2月	節分豆まき・恵方巻き 買い物ドライブ	外国人受け入れについ ての事前学習（感染対 策により中止とし資料 配布）	第4回入所検討委員会
3月	雛かざり お楽しみ外出（町内ドライ ブ） 火災避難訓練 不審者対応訓練		
毎月	運営委員会、ユニット会議、各専門委員会（サービス向上、企画・編集、褥瘡対策 食事、危機管理、事故防止対策、身体拘束、虐待対策）介護マイスター、クラブ活動 内科検診、選択メニュー、喫茶しいのき、散髪・美容、高齢者部会介護技術伝達講習会		
定期	職員会、内部研修、各専門委員会（内部研修、エルダー、感染症対策、入所検討 医療行為対策、安全衛生推進、防災対策）法人各委員会		
随時	里帰り、イベント外出、バイキング、地域交流、健康診断、歯科検診、避難訓練 相談・苦情対策委員会、食中毒対策緊急会議（緊急時）		
毎日	ミーティング		

(4) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,442	96.1%	100.0%
5	1,550	1,516	97.8%	99.3%
6	1,500	1,480	98.7%	98.3%
7	1,550	1,514	97.7%	96.8%
8	1,550	1,514	97.7%	93.8%
9	1,500	1,446	96.4%	95.2%
10	1,550	1,471	94.9%	97.2%
11	1,500	1,455	97.0%	96.7%
12	1,550	1,408	90.8%	98.5%
1	1,550	1,478	95.4%	96.7%
2	1,450	1,380	95.2%	99.9%
3	1,550	1,490	96.1%	99.0%
合計	18,300	17,594	96.1%	97.6%

入所者要介護度別

(R2年3月末現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	0	2	17	31

平均介護度 4.58
 男性 14名 女性 36名
 平均年齢 87.4歳

7. 短期入所生活介護事業所しいのき園

(1) 行動指針

『人をつなぐ地域をつなぐ共に笑顔のパートナー』

- ①安心安寧な生活の提供と維持に努めます。
- ②基本的人権を尊重したサービス提供に努めます。
- ③自分たちが利用したい施設を目指します。
- ④社会資源として地域に貢献します。
- ⑤常に職員の資質向上に励み、良質なサービス提供に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和元年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、身体拘束対策適正化委員会を開催し、検証及び拘束解除へ向けての取り組みを行いました。 ・毎月、虐待対策委員会を開催し、グレーゾーンの洗い出しを行い、虐待ゼロに努めました。 ・園内研修で、身体拘束・虐待対策に関する勉強会を行うと共に、今年度も全職員を対象に、虐待に関するアンケートを実施し、虐待ゼロへの職員の意識付けを行いました。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人一人のニーズを探り、個々に合ったプラン（ハッピープラン）の実現に努めました。 ・お客様満足度アンケートを実施し、利用者や家族の意向の確認を行い、意向に沿ったサービスに努めました。 ・管理栄養士を中心に栄養マネジメントを適切に実施し、食事委員会にて利用者様の嗜好を献立に反映させ、喜ばれる食事の提供を行いました。 ・給食委託業者と連携し、安心・安全で、個々の利用者様に合った食事の提供に努めました。また、旬の食材や行事食を提供し、季節を感じていただきました。 ・一緒におやつ作りやユニット食作りを行い、作る楽しみだけでなく、調理の様子を見たり、その音や匂いを感じたりすることで、五感を刺激しながら食事を楽しんでもらうことができました。 ・施設入所の利用者様が、2月に2名、インフルエンザに罹患されましたが、早急に感染症対策を徹底し、それ以上の蔓延を予防することができました。 ・ご家族、担当ケアマネージャーと連絡を取り合い、普段の健康状態の把握に努め、利用中に状態変化等あれば、その都度報告し、在宅での生活が円滑に送れるように務めました。
	地域との関係向上	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所訪問、小中学校の学生ボランティアや地域のボランティアを積極的に受け入れ、交流を図ったり、法人主催の清掃作業に参加しました。 ・昨年度は西日本豪雨災害のため「夕涼み会」が中止となりましたが、今年度は「納涼祭」とし、屋内での日中開催に変更しました。近隣住民の皆さんにも参加していただくことができました。 ・消防署職員指導の元、9月に夜間想定避難訓練と消火訓練を実施しました。近隣地域（椎の木、山本、上野）の方々にも参加していただきました。

	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、ユニット毎に福祉機器の点検を行い、修繕および危険箇所の速やかな対応を行うことで事故に繋がらないよう努めました。 ・老朽化していたリクライニング車椅子3台、電動ベッド2台の買い替えを計画的に実施しました。 ・以前より不具合を起こしていた、特殊浴槽、ナースコールの買い替えにより、安心・安寧なサービスに繋がるよう努めました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・利用期間中、体調不良により通院が必要となった時に、ご家族での送迎が困難な場合があり、園の公用車で病院までの送迎サービスを行いました。 ・ショート送迎時に、それぞれの利用者様に合った、移乗の方法について、ワンポイントアドバイスをを行いました。 ・摂食状態や皮膚状態が悪化傾向にある利用者様のご家族に対して、担当ケアマネージャーと連携し、在宅介護におけるの注意点をアドバイスすることができました。
	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「しいのき」を年3回発行し、地域・関係機関にも情報を提供しました。また、ホームページにおいても園内の様子等を随時更新し、情報発信に努めました。 ・苦情の有無にかかわらず、ホームページと広報誌を通じて、苦情解決結果を公表しました。
福祉人材に関する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識や技術を習得するため、外部研修にも積極的に参加しました。そこで学んだ事をことをフィードバックし、職員の知識向上に努めました。
	人材確保に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・野村高校への「出前講座」を2回実施、若手職員が参加し、経験談などを話すことで、介護への興味を深めてもらうきっかけ作りを行いました。
	人材定着に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの向上と共に、働きやすい職場環境を整えるため、業務改革委員会を立ち上げて2年目。出来ることから実践し、その都度、改善が必要なことについて検討を行いました。 ・全職員対象の健康診断を5月に実施し、夜勤業務に携わる職員は11月に2回目の健診を実施しました。またストレスチェックも行いました。健診結果を各職員に配布して、健康維持への意識付けを行いました。 ・職員互助会などを通じて、定期的に職員同士の交流と親ぶくを深めました。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・エルダー制度を通じて、新任職員の育成と、先輩職員の成長を促すことができました。 ・成長支援制度において、チーム目標の設定を行い、個別目標を掲げることで、個々が目的意識をしっかりと持ち、取り組むことができました。 ・介護福祉士合格者4名が資格取得し、喀痰吸引研修は2名が終了しました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会や内部研修において、全職員を対象に法令遵守に関する研修を行い、意識の徹底に努めました。
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・安定経営のために適正収入の確保として稼働率86%以上を目標に取り組みました。新規利用者の確保、空床の利用等で、稼働率87.8%を達成する事ができました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4月	お花見(園庭にて) ショートユニット食 (おにぎりバイキング)	新任職員研修：2名 身体拘束・虐待防止 事故防止・個人情報 の各研修：26名	成長支援制度目標設定
5月	5月人形かざり 火災避難・消火訓練 おやつ作り (いちご大福)	AED講習・酸素・吸引器 の取り扱い研修：28名	健康診断 (全員) 広報誌66号発行 第1回入所判定委員会 県老人福祉大会 (実践者発表)
6月	園内運動会 おやつ作り (フルーツあんみつ) 火災避難訓練	感染症・食中毒予防の 研修、車椅子上での ポジショニング他：26名	野村高校福祉教室 (レク) 出前講座 (野村高校)
7月		経口維持加算に向けた 取り組み、食事姿勢、 嚥下リハ的手法：28名	四国老人福祉施設関係者研究大会 (実践者発表)
8月	七夕飾り 納涼祭 おやつ作り (コーヒーゼリー)	褥瘡対策研修：26名	チャレンジボランティア来園 (町内小中学生) 第2回入所判定委員会
9月	おやつ作り (ホットケーキ) 夜間避難訓練 (地域住民 参加)	看取り研修 給食施設の衛生管理、 食中毒について：25名	南予老協力のいない介護教室 西予市白寿の祝い 県社協人材育成施設バスツアー 県実地指導監査 広報誌67号発行
10月	保育所との交流 園内敬老会	感染予防研修：22名	出前講座 (野村高校) 協会奉仕作業 全国老人福祉施設研究会議愛媛県大会
11月	乙亥大相撲テレビ観戦 おやつ作り (大学芋)	資質向上ポジショニン グ研修：25名	おいのこ来園 若葉会、退公連女性部、ボラン ティアそよかぜ来園 乙亥力士訪問 第3回入所判定委員会 健康診断 (夜勤者)
12月	忘年会・餅つき クリスマス飾り おやつ作り (クリスマスケーキ) 風水害避難訓練	摂食嚥下のメカニズム 誤嚥防止のための食事 姿勢、口腔ケア：27名	シェイクアウトえひめ
1月	お年とり・新年会 おやつ作り (生チョコケーキ)	身体拘束排除、虐待防 止研修、介護リフト等 を使用した安全な移乗 介助：26名	広報誌68号発行 巡回介護教室 (長浜高校)
2月	節分豆まき・恵方巻き おやつ作り (アップルケーキ)	外国人受け入れについ ての事前学習 (感染対 策により中止とし資料 配布)	第4回入所検討委員会

3月	雑かざり おやつ作り（クッキー） 火災避難訓練 不審者対応訓練	
毎月	運営委員会、ユニット会議、各専門委員会（サービス向上、企画・編集、褥瘡対策 食事、危機管理、事故防止対策、身体拘束、虐待対策）介護マイスター、クラブ活動 内科検診、選択メニュー、喫茶しいのき、散髪・美容、高齢者部会介護技術伝達講習会	
定期	職員会、内部研修、各専門委員会（内部研修、エルダー、感染症対策、入所検討 医療行為対策、安全衛生推進、防災対策）法人各委員会	
随時	里帰り、イベント外出、バイキング、地域交流、健康診断、歯科検診、避難訓練 相談・苦情対策委員会、食中毒対策緊急会議（緊急時）	
毎日	ミーティング	

(4) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	300	292	97.3%	75.0%
5	310	297	95.8%	83.5%
6	300	292	97.3%	88.0%
7	310	263	84.8%	77.4%
8	310	246	79.4%	78.1%
9	300	264	88.0%	84.3%
10	310	306	98.7%	81.6%
11	300	253	84.3%	93.0%
12	310	272	87.7%	97.4%
1	310	255	82.3%	92.6%
2	290	245	84.5%	91.8%
3	310	230	74.2%	88.1%
合計	3,660	3,215	87.8%	85.9%

利用定員 10名

平均介護度 2.38